

2024 年度 産学連携教育プログラム 手続要項

ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

ビジネスコミュニケーションプログラム

野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）

サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム



明 海 大 学

総合教育センター

産学連携教育プログラムについて

総合教育センター キャリア教育部門

この産学連携教育プログラムは、本学の実学教育の一環として 21 世紀の高付加価値人材を育成するために本学の「総合教育センター」が提供するもので、4 つのプログラムを開設しています。

これらのプログラムは、いずれも大学教育と企業等実社会を接続するもので、皆さんが所属する学部・学科で学んでいる専門知識をより一層広がりのあるものにしてくれるはずです。

また、講師は、いずれのプログラムも企業の最前線で活躍されている方々で、皆さんの将来の目標を達成する上で、非常に役立つ知識を得ることができることでしょう。

皆さんが、積極的にこれらのプログラムを活用し、実学知識を身につけ、都市や地域の活性化、ひいては国際社会の発展を担う人材として活躍することを期待しています。

1 ガイダンス日時・場所

2024 年 4 月 1 日 (月) 11:40~12:30 2103 大講義室

2 履修にあたっての注意事項

- 履修希望カードは、ガイダンス時に提出することになっていますので、必ず事前に記入の上、ガイダンスに出席してください。履修希望カードについては 13 ページ以降を確認してください。
- 産学連携教育プログラムの授業科目と必修科目等が同一時限に重複する場合は、必修科目等を優先して履修してください。
- 2024 年度の「授業時間割」及び「シラバス」については、浦安キャンパス公式ホームページ等で確認できますので授業科目の詳細について確認してください。
※ 「授業時間割」及び「シラバス」の公開日は 2024 年 3 月 22 日 (金) です。
- 修得単位は、「共通科目」の「キャリア形成教育」の卒業要件単位数に算入されます。
- 今年度、「日経・ビジネスプログラム」は開講しません。

3 履修可能な学部一覧表 (◎：配当 1 年次～、○：配当 2 年次～、△：配当 3 年次 (原則)、—：履修不可)

プログラム・科目	外国語	経済	不動産	HT	保健医療
ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	○	○	○	—	—
ビジネスコミュニケーションプログラム	◎	◎	◎	◎	—
野村証券ファイナンスプログラム (寄附講座)	○	○	○	○	—
サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム	△	△	△	△	—

目 次

	(ページ)
【プログラム概要・履修方法等】	
I ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム（株式会社 ANA 総合研究所）	3
II ビジネスコミュニケーションプログラム	4
III 野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）（野村証券株式会社）	6
IV サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム（株式会社サイマル・インターナショナル）	7
【授業の概要】	
V 2024 年度産学連携教育プログラム授業概要	10
【授業時間割】	
VI 2024 年度産学連携教育プログラム授業時間割	12
【履修希望カードの提出等について】	
【履修希望カード】	
ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	14
野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）	15
* ビジネスコミュニケーションプログラム及びサイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラムの「履修希望カード」については、別途掲示配信等でお知らせします。	

I ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

本プログラムは、明海大学と株式会社 ANA 総合研究所が国際的な視野に立ったツーリズム、CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 及びサービスに関する実学知識・スキルを修得することを目的としたプログラムについて覚書を締結して開設するものです。

1 授業科目・開講時限等

授業科目 (単位数)		配当年次	授業担当者	開講期	曜日・時限
ツーリズム (観光)	ツーリズム概論 (2)	2	松山 豊浩	前	火・4
	航空サービス論 (2)	2	大寄 史眞子	後	木・3
	フライトアテンダント・グランドスタッフ研究 (2)	2	青地 香里	前	金・4
CS (顧客満足)・ サービス	ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・3
	ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業) (2)	2	井元 千穂	後	木・4
	ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・4

2 履修資格・方法等

(1) 配当年次等

このプログラムの全ての科目は2年次から履修することができます。

また、1科目(2単位)のみの履修も可能ですが、4科目(8単位)以上修得することを推奨します。

(2) 履修資格等

外国語学部、経済学部及び不動産学部の学生で、産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出した者又は履修希望カードを所定の期限までに学事課(教務担当)までメールで提出した者の中から履修許可を行います。

(3) 履修登録の手続等

ア ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出してください。ガイダンスに出席できない者は、4月2日(火)までに学事課(教務担当)までメールで提出してください。

提出先メールアドレス: kyomu4993@meikai.ac.jp

イ 履修登録期間中〔3月27日(水) 9:00~4月2日(火) 23:59〕にWebポータルシステムで履修登録をしてください。

※ 1年間分(前学期・後学期)の科目を登録してください。

(4) 履修登録許可

上記のア及びイの手続きを行った者のうち、履修許可する者を4月5日(金)に2101大講義室横掲掲示板に掲示しますので必ず確認してください。

※ 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。

Ⅱ ビジネスコミュニケーションプログラム

本プログラムは、日常生活をスムーズに送るための人間関係構築の視点から、マナーと日本語によるコミュニケーションについて学び、更にビジネスの世界においても、安心と信頼から成る人間関係を構築するためのスキルを修得することを目的とします。性別や将来の進路・職種に関係なく、幅広い分野で役立つプログラムです。積極的に受講してください。

1 授業科目・開講スケジュール等

授業科目(単位数)	配当年次	授業担当者	開講期等
ビジネスコミュニケーションA (1) ビジネスコミュニケーションB (1)	1	安部 桂子	前・後学期 集中授業

注：上記授業科目は、A・B同一内容で2科目2単位(2回)まで受講できます。また、この授業の単位数は履修単位数の上限には含まれません。

2 授業開講スケジュール等

開講期	開講スケジュール				
	回	開講日	時限	受付期間	受付結果通知日
前学期	1	5月11日(土) 5月18日(土) 5月25日(土) 6月1日(土)	1・2時限	4月5日(金)～4月26日(金)	4月29日(月)
	2	6月15日(土) 6月22日(土) 6月29日(土) 7月13日(土)		4月5日(金)～6月7日(金)	6月10日(月)
	3	8月1日(木) 8月2日(金)	1～4時限	7月5日(金)～7月26日(金)	7月29日(月)
後学期	*後学期の開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示で連絡します。				
備考	注1：実施方法、日時及び講義室が変更になった場合は、掲示等で連絡します。 注2：開講日時を確認し、各回ともすべての授業に出席しなければなりません。 注3：各回をまたがって受講することはできません。 注4：本授業に参加するために、平常授業を欠席することは認められません。 注5：筆記用具及び学生証を必ず持参してください。 注6：各回とも最終日の服装はリクルースタイルとします。 注7：前学期第3回の授業については、4年(8学期)の学生は単位の認定を受けることはできませんが、受講することはできます。				

3 履修資格・方法等

(1) 配当年次

このプログラムは、1年次から履修することができます。

(2) 履修資格等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部の学生で履修希望カードを所定の期限内までに学事課（教務担当）窓口またはメールで提出した者の中から履修許可を行います。

(3) 定員

1クラス10名以内で各回とも先着順とします。

なお、各回とも受付期間最終日までに履修希望者が5名に満たないときは、授業が開講されない場合があります。

(4) 履修手続等

前学期分の履修希望を先着順で受け付けます。履修許可の連絡は、受付結果通知日に学事課（教務担当）からメールで連絡します。授業実施方法や日時、受付方法についての詳細は、4月5日（金）にWebポータルシステムから配信予定の「2024年度前学期ビジネスコミュニケーションプログラム（集中講義）の実施について」を確認してください。

※ Webポータルシステムでの履修登録は必要ありません。

※ 後学期の開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示で連絡します。

ア 受付開始日

第1回及び第2回 2024年4月5日（金）

第3回 2024年7月5日（金）

イ 手続方法

ビジネスコミュニケーションプログラム履修希望カードは、Webポータルシステム掲示配信、又は明海大学浦安キャンパスサイト「学事課（教務担当）からのお知らせ」の「学部関連のお知らせ」産学連携教育プログラムの掲示からダウンロードしてください。履修希望カードに必要事項を記入し、各回、所定の受付期間内に学事課（教務担当）窓口またはメールで提出してください。

提出先メールアドレス：kyomu4993@meikai.ac.jp

注：各回とも、定員になり次第受付を締め切りますので、履修希望者は早めに申し込んでください。

なお、定員制で先着順に申込みが行われるため、申込み後、万一受講できなくなった場合は、速やかに学事課（教務担当）（電話：047-350-4993）に連絡してください。

Ⅲ 野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）

本プログラムは、明海大学と野村証券株式会社が、資本市場と証券投資に関する実学・実践的な教育プログラムについて、覚書を締結し開設する寄附講座です。日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者又は貯蓄・投資者として賢く振舞うためのファイナンスに関する実践的な知識を修得することができます。野村証券株式会社の現役スタッフが証券市場の話題を中心に授業を行います。

1 授業科目・開講時限等

授業科目(単位数)	配当年次	授業担当者	開講期	曜日・時限
資本市場の役割と証券投資(2)	2	野村証券からの派遣講師	前	金・3

コーディネーター：廣部 恒忠（経済学部教員）

注：2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資(2単位)」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」〕の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

2 履修資格・手順等

(1) 履修資格等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部の2年生以上で、次に掲げる項目について書類審査し、50名以内を選抜します。

- ① 単位修得状況及びGPA（前年度末までの累計）
- ② 取得資格等
- ③ ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習Ⅰ・Ⅱの受講状況（経済学部及び不動産学部学生のみ）
- ④ 証券、金融関連企業への就職を希望する者で、授業に積極的に参加する意欲のある者（「履修希望カード」の履修動機）

注：②及び③の項目は必須条件ではありませんが、応募者多数の場合は、選抜の際の参考とします。

(2) 履修登録の手続等

ア ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出してください。ガイダンスに出席できない者は、4月2日（火）までに学事課（教務担当）までメールで提出してください。

提出先メールアドレス：kyomu4993@meikai.ac.jp

イ 履修登録期間中〔3月27日（水）9:00～4月2日（火）23:59〕にWebポータルシステムで履修登録をしてください。

(3) 履修登録許可

上記のア及びイの手続きを行った者のうち、履修許可する者を4月5日（金）に2101大講義室横掲示板に掲示しますので必ず確認してください。

- ※ 定員を超過した場合、ガイダンスに出席し履修希望カードを提出した者の履修を優先して許可します。
- ※ 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。

IV サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム

- 明海・サイマルパートナーシッププロジェクト -

本プログラムは、1965年に日本で初めて国際会議の通訳者グループとして発足した株式会社サイマル・インターナショナルとの連携によるもので、英語通訳者として国際活動に携わるための高度なスキルを修得することができます。実際にサイマル・アカデミー通訳コース（英語コース）の通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、通訳Ⅲ又は通訳Ⅳのいずれかのクラスに入って学ぶ実践的なプログラムです。

なお、4月入学及び10月入学があり、2024年度については、10月入学の募集となります。募集に関する詳細については、別途掲示でお知らせします。

1 対象学部・年次等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部

履修年次：3年次（希望者が定員に満たない場合に限り、2年次の後学期又は4年次の前学期の履修を認めます。）

定員：2名

対象クラス等：通訳コース 通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、通訳Ⅲ、通訳Ⅳ（全て週4時間 半年間）

*授業が行われる期間、曜日、時間帯、クラス形態等はサイマル・アカデミーの募集要項参照
(10月コースの募集要項は、8月上旬完成予定)

2 受講資格

本学が行うインタビュー並びにサイマル・アカデミーが行うレベルチェック及び通訳テストに合格した者
〔受講できるレベルの目安〕

TOEIC Listening & Reading Test 900点以上が望ましい。TOEFL (iBT100点以上、CBT250点以上又はPBT600点以上) 又は英検1級レベル相当者

[各クラスレベル概要]

通訳Ⅰ	英語力：多くの一般的な話題について自然なネイティブ・スピーカーの英語を理解し、同様の内容をおおむね問題なく英語で表現することができる力があること。また、ビジネスにおいても、様々な場面に応じて自分の考えを順序立てて話すことができ、仕事をこなす能力がある。 通訳スキル：通訳の概要を理解し、上記英語力を基にごく平易な内容の日本語を、単文程度訳し、同程度の英語を日本語に訳す能力がある。
通訳Ⅱ	英語力：経済、ビジネス、国際関係などの話題についてネイティブの英語をおおむね正確に理解することができ、同様の内容を基礎的な文法上の誤りなく英語で表現する能力がある。 通訳スキル：経済、ビジネス、国際関係などの比較的平易な英語の内容を正確に理解し、ノートをとって分かりやすい日本語に訳し、同様の内容の日本語を文法上の誤りのない英語に訳す能力がある。
通訳Ⅲ	英語力：表現においては自然さ、流暢さ、高度な語彙力などの面で欠けるが、理解においては専門的な内容のものを除いてほぼ問題のない能力を持っていること。 通訳スキル：経済、ビジネス、金融を含む一般的な内容について、比較的正確な理解力、ノートテキング力を持ち、逐次モードでは日本語にも英語にも分かりやすい通訳をする能力がある。
通訳Ⅳ	英語力：表現においては自然さ、流暢さ、高度な語彙力などの面で欠けるが、理解においては専門的な内容のものを除いてほぼ問題のない能力を持っていること。 通訳スキル：経済、ビジネス、金融を含む一般的な内容について、比較的正確な理解力、ノートテキング力を持ち、逐次モードでは日本語にも英語にも分かりやすい通訳をする能力がある。通訳Ⅲより高い精度が求められる。

3 履修手続

(1) 履修希望カード（所定様式）を提出

提出期限：7月上旬を予定

提出先：学事課（教務担当）

*履修希望カードを提出する際、TOEICスコアシート等のコピーと一緒に提出すること。



(2) 第1次選考（明海大学における選考）

選考方法：1人15分程度の英語によるインタビュー

日時：7月中旬を予定

結果発表：7月下旬（全学共通掲示板で確認してください。）

*通訳関係の授業を履修している者は、第1次選考のインタビューを免除することがあります。



(3) 第2次選考（サイマル・アカデミーにおけるレベルチェック・通訳テスト）

第1次選考で合格した者は、直接サイマル・アカデミーにレベルチェック（無料）及び通訳テスト〔有料、通訳一次テストと二次面接（該当者のみ）〕の申込みを行ってください。

なお、申込先、日程及び手続方法等の詳細は、サイマル・アカデミーの募集要項で確認してください。



(4) 合格発表及び入学手続

第2次選考の結果は、サイマル・アカデミーから個別に通知があります。

なお、第2次選考で合格した者には、受講クラスの通知書と契約書が郵送されますので、学費納入等所定の手続を行ってください。*履修申請手続は必要ありません。（履修単位数の上限には含まれません。）

4 受講料

このプログラムの受講者には、次のとおりサイマル・アカデミーの授業料等に対する減免及び奨学金の給付制度があります。（サイマル・アカデミーにおける授業料は、受講するクラス等によって異なりますので、募集要項等で確認してください。）

なお、明海大学の奨学金は、サイマル・アカデミーからの授業料納付等の報告に基づき給付しますので、本人が手続を行う必要はありません。

時期	授業料等減免・奨学金給付	備考
サイマル・アカデミーの入学手続等	入学金：免除 授業料：20%減免	入学手続時には、減免後の授業料（80%相当）をサイマル・アカデミーに納入しなければなりません。
4月入学者：後学期 10月入学者：翌年度前学期	奨学金の額 ：サイマル・アカデミーの 授業料の80%相当額	奨学金の給付は、サイマル・アカデミーに入学した学期の翌学期以降に納入しなければならない。明海大学の授業料から減額する方法で行います。

注1：正当な理由がなくサイマル・アカデミーにおける授業の3分の1以上欠席した者又は成績不振により本学における単位の修得が困難な者については、奨学金を給付しません。（給付後であっても、上記に該当した場合は給付された奨学金を全額返還しなければなりません。）

注2：授業料等の減免、奨学金の給付は、いずれかのクラスで1度限りとなります。

ただし、通訳Ⅲを受講後、通訳Ⅳを受講する場合については、それぞれのクラスが授業料等の減免、奨学金の給付対象となります。

5 修得単位の取扱い

サイマル・アカデミーからの成績報告に基づき、次のとおり単位を認定します。

なお、成績報告はサイマル・アカデミーから明海大学に直接行われますので、履修者本人が手続を行う必要はありません。

サイマルにおける対応コース及びクラス等（英語コース）	本学認定科目	授業科目区分等
サイマル・インターナショナルにおける通訳補助業務研修	サイマル・インターンシップ（2単位）	「共通科目」の「キャリア形成教育」の卒業要件単位数に算入されます。
通訳コース 通訳Ⅰ （週4H 半年）	通訳入門Ⅰ（英語）（4単位）	
通訳コース 通訳Ⅱ （週4H 半年）	通訳入門Ⅱ（英語）（4単位）	
通訳コース 通訳Ⅲ 通訳コース 通訳Ⅳ （それぞれ週4H 半年）	逐次通訳基礎Ⅰ（英語）（4単位） 逐次通訳基礎Ⅱ（英語）（4単位）	

注1：サイマル・インターンシップについては、当該プログラム履修者のうち、希望者のみ実施することになっています。

注2：このプログラムによる本学授業の欠席等に対する特別措置は行いません。自身の履修登録している（予定含む。）授業に支障のない開講時間を選択して受講してください。

V 2024 年度産学連携教育プログラム授業概要

※ 授業の詳細は2024年度「シラバス」を確認してください。

【ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム】

① ツーリズム概論

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム(観光)は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者(インバウンド)が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、低迷する国内旅行需要の底上げを含め、地方創生や新たな社会システム構築等の様々な動きも注目されている。現在は新型コロナの甚大な影響からの急速な回復途上にあるが、本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事やVTR等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学ぶとともに、“with Corona” “after Corona”においてあらためて日本が目指す「観光立国」「観光先進国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

② 航空サービス論

航空業界に興味を持つ学生が、「航空機に関わる業務」及び「空港業務」について理解を深め、より将来の自分に近づくことを目指す。航空会社が提供するサービスや航空業務を自ら調査し、航空便を運航するために担当者がどのような姿勢で業務にあたっているのか、どのような工夫をしているのかなどを考察し、業務に必要な力や心構えについて考える。授業は動画等を活用し、ディスカッション、グループワーク等の手法を用いて進める。

③ フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを理解する。また、変革と改革が進む航空業界で顧客戦略等の業界研究を行い求められる「おもてなし」について考え、研究する。各講義では、表現力アップ、他者理解を目指し、ディスカッションやスピーチ等、アウトプットする機会を多く設ける。ホスピタリティ業界で求められる人材像はもちろん、社会人生活でも役立つ知識、教養の習得を目指す。

④ ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎)

「ホスピタリティ」を多面的に考察し、ホスピタリティ発揮に向けて必要な基礎知識の習得を目的とする。いわゆる「サービス」とは異なる「ホスピタリティ」について理解を深め、「ホスピタリティの概念」をとらえ、将来の職業や社会人生活に幅広く生かせる力を養成する。取り上げる事例はエアライン業界のみならずホスピタリティ・ツーリズム業界のものとし、関連する自分の経験と照らし合わせながら考察する。

⑤ ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業)

産業や企業が発揮しているホスピタリティに焦点を当て、現代社会においてホスピタリティが生み出す価値を理解し、発揮していくための組織体のあり方を考察する。商品やサービスの低価格化志向の一方で、ホスピタリティを付加価値として、商品やサービスの差別化を図ろうとする企業も増えてきた。本講義では、航空会社、ホテル、百貨店等が実践するホスピタリティを、ケーススタディ、グループワークを通じて学び、企業活動におけるホスピタリティへの理解を深める。

⑥ ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習)

「ホスピタリティの概念」を基本に据え、より良いコミュニケーションを取りながら、ホスピタリティ発揮力を養うことを目的とする。社会人としての必要なマナーとホスピタリティマインド溢れる豊かな人間性を生かした働き方を身につけることを目指す。グローバルな事例を用いたディスカッション等により、ホスピタリティ発揮方法の多様性について考察する。またホスピタリティ発揮のもとなる「自己表現力」を養うために、自分らしさを再確認するワークを進め、最終回のスピーチ発表につなげる。

【ビジネスコミュニケーションプログラム】

・ビジネスコミュニケーションA・B

学生生活の限られた同世代との交流よりも幅広い、社会人として活躍するためのリアルなコミュニケーションスキルを、ロールプレイや模擬面接等の実践を通して、楽しく修得することを目的とする。自分自身の印象を知り、自己表現力アップに繋がるプログラムで、就職活動のときだけではなく、就職後にも役立つ。

【野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）】

・資本市場の役割と証券投資

長期にわたる超低金利、確定拠出年金制度の導入、ペイオフ実施及び雇用不安等、我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。

このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村証券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

VI 2024 年度産学連携教育プログラム授業時間割

【前学期】

授業期間:4月5日(金)～7月22日(月) 定期試験期間:7月25日(木)～7月31日(水)

	月	火	水	木	金
2 時限 10:40 12:10					
3 時限 13:00 14:30				ホスピタリティ論Ⅰ (2～4年) 担当:大崎 史真子	資本市場の役割と 証券投資 (2～4年) 担当:野村証券株式会社 派遣講師
4 時限 14:40 16:10		ツーリズム概論 (2～4年) 担当:松山 豊浩		ホスピタリティ論Ⅲ (2～4年) 担当:大崎 史真子	フライトアテンダント・ グランドスタッフ研究 (2～4年) 担当:青地 香里
5 時限 16:20 17:50					
集中 授業	ビジネスコミュニケーションA・B(前学期)(1～4年) *履修登録は必要ありません。 第1回 5月11日(土)・18日(土)・25日(土)・6月1日(土) 各1・2時限 第2回 6月15日(土)・22日(土)・29日(土)・7月13日(土) 各1・2時限 第3回 8月1日(木)・2日(金) 各1～4時限				

※ 授業コード及び教室については、「2024年度授業時間割」を参照してください。

【後学期】

授業期間:9月14日(土)～2025年1月20日(月) 定期試験期間:2025年1月21日(火)
～27日(月)

	月	火	水	木	金
2 時限 10:40 12:10					
3 時限 13:00 14:30				航空サービス論 (2～4年) 担当:大崎 史真子	
4 時限 14:40 16:10				ホスピタリティ論Ⅱ (2～4年) 担当:井元 千穂	
5 時限 16:20 17:50					
集中 授業	後学期のビジネスコミュニケーションA・Bの日程等については後学期の授業開始前に掲示で発表します。				

※ 後学期の教室については、後学期開始前にお知らせします。

履修希望カードの提出等について

産学連携教育プログラムを履修登録及び受講するためには、「履修希望カード」の提出が必要ですので、各プログラムの履修登録の手順等に従い、必ず提出してください。

【履修希望カードの提出時期等】

プログラム名称	提出時期等	備考
ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	ガイダンス時に提出してください。 やむを得ない事由でガイダンスを欠席する場合は、4月2日（火）までにメールで学事課（教務担当）まで提出してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● HT学部の学生は履修できません。 ● 一部の科目については履修希望者が定員を超えた場合、抽選になります。 ● 履修許可者が4月5日（金）に2101大講義室横掲示板に掲示されます。 ● 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
ビジネスコミュニケーションプログラム	4月5日（金）から受付を開始します。学事課（教務担当）窓口またはメールで提出してください。 ※ 後学期については、別途掲示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「履修希望カード」提出等の詳細については、学事課（教務担当）からの掲示配信等を確認してください。 ● 受講者は先着順です。定員を超えた場合はキャンセル待ちとなります。
野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）	ガイダンス時に提出してください。 やむを得ない事由でガイダンスを欠席する場合は、4月2日（火）までにメールで学事課（教務担当）まで提出してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 履修許可者が4月5日（金）に2101大講義室横掲示板に掲示されます。 ● 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム	所定の時期に学事課（教務担当）に提出してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「履修希望カード」等の詳細については、別途お知らせします。

注1：「履修希望カード」を提出しない場合、履修登録及び受講は認められません。

※ やむを得ない事由でガイダンスを欠席する場合は4月2日（火）までに学事課（教務担当）までメールで「履修希望カード」を提出してください。

提出先メールアドレス：kyomu4993@meikai.ac.jp

ただし、ガイダンス出席者の履修を優先的に許可します。

注2：履修資格等については【プログラム概要・履修方法等】(P.3～9)を参照してください。なお、選抜結果に関する問い合わせには、一切応じません。

ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

履修希望カード

年 月 日

学部・学科： _____ 学部 _____ 学科 _____

学籍番号： _____ 年次： _____ 年

ふりがな _____

氏 名： _____

連絡先（携帯電話等）： _____

メールアドレス： _____ @ _____

履修希望科目（履修を希望する科目に○を記入してください。）

授 業 科 目 (単位数)	配当 年次	授 業 担当者	開講期	曜日・時限
ツーリズム概論 (2)	2	松山 豊浩	前	火・4
航空サービス論 (2)	2	大寄 史眞子	後	木・3
フライトアテンダント・グラウンド スタッフ研究 (2)	2	青地 香里	前	金・4
ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・3
ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業) (2)	2	井元 千穂	後	木・4
ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・4

本プログラムの履修希望総単位数 (※) _____ 単位 (必ず記入すること。)

※ 1科目 (2単位) のみの履修も可能ですが、4科目 (8単位) 以上修得することを推奨します。

野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）
履修希望カード

年 月 日

学部・学科： _____ 学部 _____ 学科 _____

学籍番号： _____ 年次： _____ 年
ふりがな _____

氏 名： _____

連絡先（携帯電話等）： _____

メールアドレス _____ @ _____

単位修得状況・GPA	前年度までの修得単位数： _____ 単位	
	前年度までの GPA（通算）： _____ （*成績表で確認の上、記入してください。）	
取得資格等 〔TOEFL / TOEIC (L&R) を含む。〕	取得資格	取得年
ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習Ⅰ・Ⅱについて	<input type="checkbox"/> 受講済み <input type="checkbox"/> 今年度受講予定 <input type="checkbox"/> 受講していない * 経済学部及び不動産学部のみ記入	
就職希望先 (業種)		
履修動機(将来の目標を含めて簡潔に)		
摘 要 (記入不要)		